

令和6年度

編入学生募集要項

〔 入 学 案 内 〕
〔 出 願 書 類 添 付 〕

学 科	募集人員	願書受付期間	選抜試験日	合格発表日
情報機械システム 工学科	若干名	令和5年6月26日(月)～6月30日(金)	令和5年7月19日(水)	令和5年7月28日(金)



独立行政法人 国立高等専門学校機構

鳥羽商船高等専門学校

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1番1号

学生課教務係 電話(0599)25-8404

E-mail gakusei-kyomu@toba-cmt.ac.jp

ホームページアドレス <https://www.toba-cmt.ac.jp>

目 次

1. 編入学を実施する学科、募集する人員及び編入学年次	1
2. 出願資格	1
3. 本校の教育目標ならびに本校が求める学生像	1
4. 願書受付	2
5. 出願手続等	2
6. 選抜方法	3
7. 合格者の発表	3
8. 入学確約書の提出等	3
9. 注意事項	4
10. 個人情報の取扱いについて	4
11. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	4
12. 検査場案内	5

◇ 編 入 学 案 内 ◇

1. 本校の沿革	6
2. 教育目的と修業年限	6
3. 編入学生を募集する学科の紹介	6
4. クラブ活動	6
5. 経費	7
6. 入学料・授業料等の免除・徴収猶予制度	7
7. 奨学金貸与制度	8
8. 卒業後の進路	9
9. カリキュラム	10

◎本要項に添付されている、出願に必要な本校所定の用紙は、次のとおりです。

- 1 願書・写真票・受験票
- 2 入学検定料振込依頼票
- 3 入学検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点

1. 編入学を実施する学科、募集する人員及び編入学年次

学 科	募 集 人 員	編入学年次	備 考
情報機械システム工学科	若 干 名	第 4 学 年	

2. 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校を令和 6 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 高等学校を卒業した者
- (3) 高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定に合格した者、令和 6 年 3 月までに高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者で、令和 6 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

3. 本校の教育目標ならびに本校が求める学生像

(1) 教育目標

- ①人間性豊かな教養人となること
- ②創造性豊かな技術者となること
- ③国際性豊かな社会人となること

(2) 本校が求める学生像

- ①技術者になるために必要な基礎学力を有し、ものづくりに取り組める人
- ②他人を思いやる心を持ち、自主的に行動できる人
- ③コミュニケーション能力を有し、国際社会で活躍したい人

4. 願 書 受 付

- (1) 願書受付期間 令和5年6月26日(月)～6月30日(金)
(願書は受付期間内に必着のこと)
- (2) 願書受付時間 9時～16時
- (3) 願書受付場所 鳥羽商船高等専門学校 学生課教務係
〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1番1号
電話 (0599) 25-8404

5. 出 願 手 続 等

出願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**検定料 16,500 円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼書に記載）へ電信扱いで振り込んでください。（現金自動預払機（ATM）による振込は不可）

なお、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込依頼票が異なります。詳細は巻末をご覧ください。

● 出 願 書 類

書 類 等	摘 要
① 編 入 学 願 書	本校所定の用紙を使用し、必要事項を本人が記入してください。
② 写 真 票	本校所定の写真票に、必要事項を記入の上、出願前 3 か月以内に撮影した正面上半身脱帽の写真（タテ 4 cm×ヨコ 3 cm）を貼付してください。
③ 受 験 票	本校所定の受験票に必要事項を記入してください。
④ 入学検定料通知書 （学校提出用）又は 振込受付書	取扱銀行収納印のあるもの。ゆうちょ銀行で振り込まれた場合は、振込受付書を提出してください。
⑤ 返 信 用 封 筒	受験票を送付するための封筒です。 定型封筒（長形 3 号：120 mm×235 mm）に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、344 円切手(速達)を貼付してください。ただし、直接本校に持参する場合は不要です。
⑥ 調 査 書	在学（出身）学校所定の用紙を使用し、在学（出身）学校長が、作成し厳封したもの。
⑦ 卒 業 証 明 書 又は 卒業見込証明書	在学（出身）学校所定の用紙を使用し、学校長が証明したもの。
⑧ 受 験 承 諾 書	現に就職している者は、その所属長の受験承諾書（書式は、任意とする。）を提出してください。

注1 入学志願者は、上記書類①～⑧のうち、該当する書類を提出してください。

注2 郵送の場合は、必ず**書留郵便**とし、封筒の表に「編入学願書」と**朱書き**してください。

6. 選 抜 方 法

編入学者の選抜は学力検査の成績、在学（出身）学校長からの調査書、面接の結果の総合判定により行います。

(1) 検査科目

学 科	受 験 科 目		出 題 範 囲
情報機械 システム 工 学 科	必 修 科 目	数 学	(1) 必修問題 数学Ⅰ (2) 選択問題 ※1 ①数学Ⅱ ②数学B
		英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ
	選 択 科 目 ※2	①機 械 工 作 ・ 設 計	鋳造、塑性加工、溶接、切削加工、 機械に働く力と仕事、材料の強さ
		②情 報 処 理	コンピュータの基本回路、コンピュータの構成と機能、 プログラミングの基礎、コンピュータの利用
		③電気・電子	磁気と静電気、電気回路、電子回路
		④物 理	力と運動、運動とエネルギー、電気と磁気
		①、②、③、④のうちいずれか1科目を選択	

※1 必修科目の数学の(2) 選択問題については、事前に指定するのではなく、受験時に問題を選択する形式で行う。

※2 選択科目は、1科目を出願時に選択すること（編入学願書及び受験票の所定の欄に記入すること）。

(2) 学力検査及び面接日時

月 日	数 学	英 語	選択科目	面 接
7 月 19 日（水）	10：00～11：00 （60 分）	11：10～12：10 （60 分）	13：10～14：10 （60 分）	14：30～

(3) 検査地

鳥羽商船高等専門学校

7. 合格者の発表

(1) 令和5年7月28日（金） 午前10時

(2) 発表方法

本校に掲示すると共に在学（出身）学校長及び本人に通知します。

また、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

8. 入学確約書の提出等

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和5年8月18日（金）までに、

学生課教務係へ提出してください。なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。入学手続日、入学に必要な書類については「入学確約書」提出者に後日通知します。

9. 注 意 事 項

- (1) 出願書類の不備又は違式のものは、受理しないことがあります。また、虚偽の記載があったときは、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 振込済の入学検定料は、次の場合を除き返還しません。
 - ①入学検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合。
 - ②誤って入学検定料を二重に振り込んだ場合。
- (3) 試験当日に必要なものは、受験票を参照のうえ準備してください。
- (4) 学力検査当日は午前9時30分までに来校し、係員の指示に従ってください。
- (5) 不明な点がある場合には、本校学生課教務係に問い合わせてください。

10. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として使用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金の申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度改善のための調査研究

11. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

鳥羽商船高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに 鳥羽商船高専学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前にあたる令和5年5月26日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、受験者、受験者の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び 問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)

障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 出身学校等入学前の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては 提出の要不要に関しても 学生課教務係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けていただきますようお願いいたします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口

鳥羽商船高等専門学校教務係 電話 (0599) 25-8404

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1番1号

12. 検査場案内

※鉄道利用

J R・近鉄鳥羽駅から2 km

タクシー5分 (徒歩30分)

近鉄池の浦駅(急行・各停)

から0.8 km 徒歩10分



◇ 編 入 学 案 内 ◇

1. 本校の沿革

本校は、明治 14 年 8 月に旧鳥羽藩士近藤真琴翁により創立された私立の攻玉社分校鳥羽商船黌をその前身とし、以来町立・県立・国立と所管の移り変わりを経て、昭和 42 年に国立鳥羽商船高等専門学校（航海学科・機関学科）に昇格し、平成 16 年 4 月には独立行政法人国立高等専門学校機構鳥羽商船高等専門学校となり、現在に至っています。

昭和 60 年 4 月に電子機械工学科が、昭和 63 年 4 月に航海学科・機関学科を改組し商船学科及び制御情報工学科が設けられ、平成 31 年 4 月には電子機械工学科と制御情報工学科を改組し、情報機械システム工学科となり、平成 31 年度入学生から 2 学科となっています。また、平成 17 年 4 月に専攻科が設置され、商船学科を基礎とする「海事システム学専攻」と、電子機械工学科と制御情報工学科を基礎とする「生産システム工学専攻」の 2 専攻があります。

2. 教育目的と修業年限

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的としています。

情報機械システム工学科は、陸上企業の先端エンジニアとなるために必要な情報処理、電気・電子工学等の専門教育科目と数学、物理、化学、社会、外国語等の一般教育の学習を 5 年間の修業年限で行います。

なお、本校には、上記以外に商船学科があり、修業年限は 5 年 6 か月となっています。

3. 編入学生を募集する学科の紹介

情報機械システム工学科は、情報工学、電気電子工学、機械工学を基盤とし、学生自身の個性に応じたカリキュラムを選択することで、地域に貢献し日本の産業を支える実践的技術者としての専門知識・技術を身に付けることを目標としています。

4. ク ラ ブ 活 動

本校には、カッター、少林寺拳法、剣道、陸上競技、サッカー、ソフトテニス、卓球、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、水泳等の運動部と吹奏楽、写真、ESS、文芸、ロボコンの文化部があり、大半の学生はいずれかの部に入部してクラブ活動に励んでいます。運動部は地区、県の大会や高専大会に参加するなど校外試合も盛んに行われています。

5. 経 費

入学時に必要な費用は、約 29 万円です。これには入学料 (84,600 円)、授業料 (前期分 117,300 円)、学生会費、教科書代などが含まれています。なお、後期に約 13 万円が必要です。在学中に授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

次年度からは毎年前期に約 17 万円、後期に約 13 万円が必要です。

なお、学寮につきましては、定員の関係上、受入れておりません。

6. 入学料・授業料等の免除・徴収猶予制度

(1) 入学料

入学前 1 年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、風水害等の災害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者には、申請に基づき選考のうえ、入学料の全額または半額を免除し、あるいは徴収を猶予する制度があります。

(2) 授業料

経済的理由によって、納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者、風水害等による災害を受け、納付困難と認められる者には、申請に基づき選考のうえ、授業料の全額または半額を免除する制度があります。

7. 奨学金貸与制度

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金貸与制度があり、その内容は下記に示す通りです。この制度を有効に利用している学生が多数います。

奨 学 金 種 別 一 覧

令和5年4月現在

	独立行政法人日本学生支援機構 (第一種奨学金)		独立行政法人日本学生支援機構 (第二種奨学金)
対 象 学 科	全 学 科		全 学 科
貸 与 月 額	第一種	自 宅 45,000 円 自宅外 51,000 円	2万円～12万円までの間で 1万円単位の額を選択
採 用 期	4 月		4 月 ～ 9 月 ※申請時期は4月頃のみ
採 用 数	推薦による選考採用		推薦による選考採用
貸 与 期 間	全課程修業期間		全課程修業期間
出 願 書 類	①確認書 ②所得証明書等 ③マイナンバーの確認できる書類 ※インターネットでの申込が必要		①確認書 ②所得証明書等 ③マイナンバーの確認できる書類 ※インターネットでの申込が必要

8. 卒業後の進路

令和4年度卒業生 就職先等一覧表

令和5年3月31日現在

学 科 会 社 名 等	電 子 機 械 工 学 科	制 御 情 報 工 学 科	合 計	学 科 会 社 名 等	電 子 機 械 工 学 科	制 御 情 報 工 学 科	合 計
三菱ケミカルエンジニアリング㈱	1		1	出光興産㈱		1	1
日本オーチス・エレベータ㈱	1		1	エース設計産業㈱		1	1
東京ガスネットワーク㈱	1		1	日本原子力発電㈱		1	1
キャノンマーケティングジャパン㈱	1		1	NTTコム エンジニアリング㈱		1	1
日信電子サービス㈱	2		2	中部電力パワーグリッド㈱		1	1
三菱電機メカトロニクスエンジニアリング㈱	1	1	2	㈱エヌ・ティ・ティ エムイー		1	1
㈱FIXER	1	1	2	富士電機㈱		1	1
パナソニック インダストリー㈱	1	1	2	KDDIエンジニアリング㈱		1	1
三菱電機プラントエンジニアリング㈱	1		1	㈱トヨタシステムズ		1	1
㈱半導体エネルギー研究所	1		1	西日本電信電話㈱ (NTT西日本)		2	2
㈱水谷精機工作所	1		1	ソフトバンク㈱		1	1
三重ダイハツ販売㈱	1		1	シンフォニアテクノロジー㈱		1	1
浜松ホトニクス㈱	1		1	㈱メンパーズ		1	1
東海旅客鉄道㈱	1		1	日東電工㈱		1	1
ダイキンエアテック㈱	1		1	キタカワエンタープライズ㈱		1	1
愛知機械工業㈱	1		1	パナソニック㈱		1	1
奥地建産㈱	1		1	㈱NTTファシリティーズ		1	1
旭ダイヤモンド工業㈱	1		1	メタウォーター㈱		1	1
関西保潔工業㈱	1		1	㈱UL Japan		1	1
東京電力ホールディングス㈱	1		1	㈱アルプス技研		1	1
関西電力㈱	1		1	㈱村田製作所		1	1
東京都下水道サービス㈱	1		1	㈱前川製作所		1	1
㈱西口神具店	1		1				
村田機械㈱	1	1	2	【進学】			
ブライザ㈱	1		1	鳥羽商船高等専門学校 専攻科	2	6	8
美和ロック㈱	2		2	豊橋技術科学大学	2	4	6
㈱吉川機械販売	1		1	長岡技術科学大学		2	2
中部電力㈱	1		1				
NECネットエスアイ㈱	1	1	2	【その他】			
㈱タクマ	1		1	その他（自営業、自主就職含む）	1	2	3
㈱日立ビルシステム	1			未定	2		2
三菱電機ビルソリューションズ㈱	1						
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン㈱	1	1	2				
三菱電機エンジニアリング㈱	1		1				
					43	43	86

大学等編入学状況（過去5年間）

（ ）は女子内数

学科	進学者数									
	電子機械工学科					制御情報工学科				
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
鳥羽商船専攻科	3	3(1)	4	3	2	6(1)	7(2)	4	5	6(1)
電気通信大学						1				
長岡技術科学大学	1	2		2		2	2	2(1)	3	2
豊橋技術科学大学	1	2	2	4		2	2		3	6
千葉大学		1								
静岡大学							1			
和歌山大学			1							
信州大学								1		
京都工芸繊維大学									1	
山陽小野田市立山口東京理科大学				1						
合計	8	5	8(1)	7	2	5(2)	11(1)	12(2)	7(1)	14(1)

※本ページ記載一覧表については、情報機械システム工学科に改組前の学科（電子機械工学科、制御情報工学科）における記載内容となります。

9. カリキュラム

別表第1(第14条関係)

		一般科目 (情報機械システム工学科)		学年別配当					備考
授業科目		学修 単位	単位	1年	2年	3年	4年	5年	
必修	人文・社会	国語 1	2	2					
		国語 2	2		2				
		国語 3	2			2			留学生を除く
		歴史 1	2	2					
		歴史 2	2		2				
		現代社会	2			2			留学生を除く
		日本語教育 1	2			2			留学生のみ
		日本語教育 2	2			2			留学生のみ
	自然科学	基礎数学 1	2	2					
		基礎数学 2	2	2					
		基礎数学 3	2	2					
		基礎数学 4	2		2				
		微分積分 1	2		2				
		微分積分 2	2			2			
		代数・幾何 1	2		2				
		代数・幾何 2	2			2			
		物理 1	2	2					
		物理 2	2		2				
		理科総合	2		2				
		化学	2			2			
	保健・体育	保健体育 1	2	2					
		保健体育 2	2		2				
		保健体育 3	2			2			
	芸術	書道							1科目選択
		美術	2	2					
		音楽							
	外国語	English Communication1	2	2					
		English Communication2	2	2					
		English Communication3	2		2				
		English Communication4	2		2				
		English Expression1	2	2					
		English Expression2	2		2				
		Level Up English1	2			2			
		Level Up English2	2			2			
		一般基礎教育 1	2	2					
		一般基礎教育 2			1				
	開設単位数合計		63	24	23	16	0	0	
選択	志向性ユニット	コミュニケーションスキル	○	2			2		生願
		プレゼンテーションスキル	○	2			2		生願
		国際関係論	○	2			2		生ビ国
		社会政策論	○	2				2	生
		経済学	○	2			2		願ビ
		法学	○	2				2	願
		応用科学 1	○	2			2		開
		応用科学 2	○	2			2		開
		総合英語 1	○	2			2		国
		総合英語 2	○	2			2		国
		総合英語 3	○	2				2	国
		総合英語 4	○	2				2	国
		応用数学 1	○	2			2		開
		応用数学 2	○	2			2		開
		応用数学 3	○	2				2	開
		応用数学 4	○	2				2	開
		ビジネス基礎	○	2			2		ビ
		工業簿記	○	2			2		ビ
		日本語教育 3	○	2			2		留学生のみ
		日本語教育 4	○	2				2	留学生のみ
		スポーツ健康学実習1		1			1		
		スポーツ健康学実習2		1				1	
	開設単位数合計		38	0	0	0	25	13	留学生は 4年27単位 5年15単位
	※) 選択科目単位数		12以上	0	0	0	12以上		
	合計		75以上	24	23	16	12以上		

特別教育活動	3	1	1	1
--------	---	---	---	---

志向性ユニットの備考欄はユニットの略称。開は開発・設計、生は生産技術、願は顧客対応、ビはビジネス基礎、国は国際性の略。

※) 選択科目単位数に、鳥羽商船高等専門学校以外の教育施設等における学修等に関する規則別表2に掲げる技能審査の単位数を加算することが出来る。なお、技能審査が単位認定された学年を問わず選択科目の修得単位に含めるものとする。

別表第2(第14条関係)

情報機械システム工学科

授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
学科概論		1	1					
工学リテラシ		2	2					
情報工学基礎		1	1					
プログラミング1		1	1					
プログラミング2		1			1			
情報工学1		1		1				
情報工学2		1		1				
情報工学3		1			1			
WEBアプリケーション		1			1			
電気電子基礎		1	1					
電気電子工学		2		2				
電気電子回路		2			2			
機械工学基礎		1	1					
機械加工基礎		2		2				
工業力学1		1			1			
材料学		1			1			
機械製図		1			1			
機械加工実習		1			1			
マイコン工学		1			1			
計測工学		2			2			
工学数理基礎1		1			1			
工学数理基礎2		1			1			
キャリアデザイン1		2			2			
キャリアデザイン2		2				2		
PBL1		1	1					
PBL2		2		2				
PBL3		2			2			
PBL4		4				4		
PBL5		4					4	
情報数学	○	2				2		
ネットワークシステム	○	2				2		
システム工学	○	2					2	
古典制御	○	2				2		
材料力学1	○	2				2		
機械力学1	○	2				2		
熱流体力学1	○	2				2		
機械設計	○	2					2	
工作法	○	2					2	
技術者倫理	○	2					2	
卒業研究		8					8	
小計		72	8	8	18	18	20	

授業科目の名称			学修 単位	単位	学年別配当					備考
					1年	2年	3年	4年	5年	
選 択	※専門性 ユニット	AI	○	2				2		デモ
		デジタル信号処理	○	2				2		デス
		センサネットワーク	○	2					2	デモス
		ビッグデータ解析	○	2					2	デ
		数値計算法	○	2					2	デ
		モバイルプログラミング	○	2				2		モ
		画像処理	○	2				2		モ
		サーバー管理	○	2					2	モ
		組込みシステム工学	○	2				2		ス
		回路設計	○	2					2	ス
		センサ応用システム	○	2					2	スロ
		機能材料	○	2				2		バエ
		電磁気学	○	2				2		バ
		電力工学	○	2					2	バ
		電気機器	○	2					2	バ
		生産工学	○	2					2	バエ
		材料力学2	○	2				2		エロ
		機械工作法	○	2				2		エ
		熱流体力学2	○	2					2	エ
		工業力学2	○	2				2		ロ
	機械力学2	○	2					2	ロ	
	現代制御	○	2					2	ロ	
	共通	特別講義1	○	2				2		
		特別講義2	○	2					2	
インターンシップ			2				2			
小計			50	0	0	0	24	26		
専 門	必修科目単位数合計			72	8	8	18	18	20	
	選択科目単位数合計			50	0	0	0	24	26	
一 般	開設科目単位数合計			101	24	23	16	25	13	
	修得科目単位数合計			75以上	24	23	16	12以上		
修得単位数				167以上	32	31	34			
					130以上					
					167以上（一般科目75以上・専門科目82以上）					

※専門性ユニットのうち1分野すべて履修すること。

ユニットの備考欄はユニットの略称。デはデータアナライズ、モはモバイルアプリケーション、スはスマートセンシング、バはパワーエレクトロニクス、エはエアロスペース、ロはロボティクスの略。